

平成20年2月吉日

東日本旅客鉄道株式会社
代表取締役社長 清野 智様

吉祥寺駅改良対策協議会
代表 稲垣 英夫

J R 吉祥寺駅改良計画に対する要望について（お願い）

貴職におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃から、J R 八王子支社をはじめ武蔵野市内のJ R 各駅関係者の方々には、地域振興のイベント等に一方ならぬご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、このたび吉祥寺駅改良計画のお話を伺い、早速地元関係者による吉祥寺駅改良対策協議会を設置し協議してまいりました。

ご存知のとおり、吉祥寺駅は、民衆高架駅として開設され、昭和44年当時の駅利用者は約26万人でしたが現在では、42万人という多くの乗降客に利用されております。

今回の改良計画では、「わかりにくい駅の構造」、「不完全なバリアフリー設備」、「吉祥寺の街の特色に乏しい駅ファサード」等の現状を踏まえ、計画されておられます。

計画では、1階コンコースの吹き抜けに2階フロアを新設し、店舗部分を増床するなど駅利用者の安全安心の快適空間創出よりも収益重視が強く感じられます。

吉祥寺の駅舎規模に対しての利用客数の多さは、J R の他の駅舎とは比較にならないもので、店舗フロアの新設は今以上の混雑を招く恐れがあると危惧しております。

吉祥寺は、新聞、雑誌等で「住みたいまち」ナンバー1に選ばれ、また商店街も大型店と商店会の協力により共存共栄し、まちの繁栄に寄与しております。

駅は、まちの顔であり、まちの雰囲気・格をイメージさせるシンボリックな場所であり、まちの繁栄とともに発展するものと理解しています。

鉄道事業者にとって、利益追求は競争社会のなかで当然のことと存じますが、危機管理の上からも、ゆとりを感じさせる品格のある駅として改良していただきたく、下記のとおり要望いたしますので、ご検討くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 安全・安心について

A改札前のラチ外コンコースの店舗をなくし、みどりの窓口・びゅうプラザを縮小しコンコースを広くすること。

A改札前の2階ラチ外コンコースから東方向へ昇降する空間（JR案ではエスカレーター）の幅を、柱割で1スパンは確保し、あわせて階段も設置すること。

B改札（現中央口）とC改札（現ロンロン）の間を連絡する通路は、狭隘で防災上危険であり、改札室隣接店舗や催事場を縮小して通路を拡幅すること。

北口広場からC改札へのアクセス経路である、ロンロン1階と2階間に、昇降両方向のエスカレーターを設置するとともに、同様の階段も確保すること。

ロンロン側のラチ外コンコースを始発から終電まで開放し、ラチ外コンコースとロンロンの間にシャッターを設置すること。

2．利便性について

1階南北連絡通路脇の島状の店舗部分を待ち合わせスポットとし、このスポットには、新たな吉祥寺の名所となるような「シンボル」を設置すること。

吉祥寺大通りと1階南北連絡通路の間を連携する店舗内通路の幅を、柱割で1スパンは確保すること。

3．まちとの融和について

来街者のために、1階にまち案内所を設置すること。

荷捌き場、駐輪・駐車スペース等を設置すること。

4．駅の品格について

まちの顔として市民・来街者から愛され、誇れる吉祥寺のシンボルとなるような品格のある駅舎にすること。

広場に面する駅舎の庇を景観との調和の中で、鉄道・バス利用者にとって有益なものとなるようにすること。